

何が新しく、 何が変わらないか

会計専門職が高品質なサステナビリティ関連情報への需要に応える準備を進める中で、職業会計士、学者、教育者、会計事務所、会計職業専門家団体 (PAOs) は、会計士教育プログラムにおける **ギャップを埋める方法** を検討しなければならない。

良い知らせは、職業会計士が既に行っていることの多くが、サステナビリティ関連の業務に移転可能なことである。他方で、新たなサステナビリティに関連するトピックや課題には、新たな考え方や働き方が求められる。このことを正しく理解することで、職業会計士はサステナビリティ分野をリードすることができるだろう。

IFACが教育とサステナビリティの共通部分に重点的に取り組む一環として、また、職業会計士がどのような追加的教育やトレーニングが必要になるかを検討する一助として、職業会計士にとっての主要な四つの重点分野において、何が新しく、何が変わっていないのかを示すサステナビリティ教育の枠組みを開発した。

技術的な専門知識



既に取り組んでいる項目

- 高品質で意思決定に有用な財務報告書の作成
- 非財務データや情報の解釈
- 経営上の意思決定を支援するためのデータや情報の分析
- 財務報告のためのシステム、プロセス、統制の適切性の評価

今後必要な取組項目

- 新しいサステナビリティ関連の報告及び保証の基準と要件事項の理解と適用
- 科学的根拠に基づく指標と目標を含む、パフォーマンスの新たな測定方法の確立
- 情報に基づいた意思決定を支援するための新しいタイプのサステナビリティ関連のデータセットやシナリオの分析
- サステナビリティ関連報告のためのシステム、プロセス及び統制の設計、導入及び評価
- サステナビリティの観点からの重要性判断と評価
- 高品質で意思決定に有用なサステナビリティ情報の作成と開示

ビジネスセンス



既に取り組んでいる項目

- 変化するビジネスモデルの理解と評価
- 企業の経営における規制、業界、その他の外部要因の解釈
- 戦略的なビジネス上の意思決定がもたらす影響の分析
- ガバナンスとリスク管理手続の整備と評価

今後必要な取組項目

- グローバルなサステナビリティの状況がビジネスモデル、バリューチェーン、戦略に与える影響を考慮するシステム思考家になること
- 財務上のリスク・機会とサステナビリティのリスク・機会の結合性の認識
- ガバナンス、リスク及びパフォーマンス管理への影響の評価
- 情報に基づいた意思決定を支援するため、サステナビリティ関連情報の経営者への提供
- 様々な外部の利害関係者に対して、高品質で意思決定に有用な情報の提供

行動特性



既に取り組んでいる項目

- 分析的思考ができるための訓練
- 強靭性、柔軟性、知的敏捷性の発揮
- 知的好奇心の旺盛さと生涯に渡る学習
- 強固な対人関係の構築
- チーム、組織、専門分野及び専門家を越えての協働

今後必要な取組項目

- 分析スキルと会計知識を新しいデータタイプや報告要求事項に適用
- 批判的思考と課題解決スキルを活用し、リスクや不確実性を含む将来シナリオの効果的な分析及び代替案の検討
- サステナビリティ関連の活動に対応するための新しい知識やスキルの習得における柔軟かつ機敏な対応
- 複数の専門分野を混合したチームや広範な専門家と効果的に協働するための能力の更なる向上
- より広範な社内外の利害関係者と明確かつ効果的にコミュニケーションを実施

倫理観と職業的価値観



既に取り組んでいる項目

- IESBA規程¹に加え、より厳格な国内要求事項を遵守することによる強固な倫理的基盤の維持
- 質の高い業務を提供し、公共の利益を守るための専門知識及びスキルの習得と維持
- 探究心の保持と専門的判断及び懐疑心の発揮

今後必要な取組項目

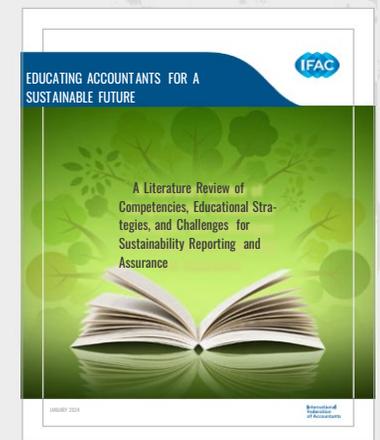
- サステナビリティ関連の報告及び保証に関する改訂予定の新しい倫理規程の適用
- 専門家等と協働する場合を含め、サステナビリティにおける倫理的脅威の検討
- サステナビリティ関連開示の作成又は保証提供における、専門的判断力と懐疑心の発揮

IFACは、国際会計教育パネル(International Panel on Accountancy Education)とともに、以下の取組を通じて、このサステナビリティ教育の枠組みを策定した。

70回を超える意見交換を、世界中の作成者、監査人、投資家、学者、サステナビリティの専門家、規制当局及びPAOと実施した。

ステークホルダー調査をアラビア語、英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語で実施し、80か国からの340以上の回答を得た。

国際会計教育研究協会(International Association for Accounting Education & Research)と共同で行った文献レビュー『[持続可能な未来に向けた会計士教育\(Educating Accountants for a Sustainable Future\)](#)』を実施した。



¹ 国際会計士倫理基準審議会(IESBA)の「職業会計士のための国際倫理規程(国際独立性基準を含む。)(IESBA規程)は、国際会計士倫理基準審議会(International Ethics Standards Board for Accountants)によって発行されている。

日本公認会計士協会は、「Equipping Professional Accountants for Sustainability」(2024年4月 国際会計士連盟(IFAC)公表)を日本語へ翻訳し、IFACの許可を得て複製した。全てのIFACからの公表文書(以下「公表文書」という。)の正文は、IFACにより英語で記載されたものである。

2024年6月からIFACは著作権を保持しており、公表文書をIFACの許可を得ず、複製・複製することを禁じている。複製、保存、送信その他の類似する使用については、Permissions@ifac.org へ問い合わせの上、許可を得なくてはならない。